

1 牧之郷駅周辺整備完成

- ・事業決定までの調整期間が5年かかったとの説明だったが、主な原因として用地取得に時間がかかったのか。生活道路2号の奥にある田んぼについても、将来的にはその活用(企業誘致)を考えているようなお話だったので、地権者の方との定期的なコンタクトなどでつながりを切らず進めて行くことが大事と思った。
- ・周辺住民による活発な利用が望まれるが、送迎の車などの出入りが気になった。イベント開催時にも課題となると感じたがどのように取り扱っていくか気になるところだ。
- ・芝生の手入れなどは当分市の方で行うが、ゆくゆくは地元で管理してもらう、とのことだった。現在準備中の南小学区地域づくり協議会とも関連してくるのか。

2 萬城の滝 駐車場と滝の展望デッキ(萬城の滝周辺整備事業)

- ・昨年の所管事務調査の時には、滝デッキについては「滝の自然な姿をみせるような形が好ましい」と感じどちらかと言うと設置しなくてもいいのでは、と思っていたが、今回完成したデッキを実際に見て、萬城の滝全体の風情をそれほど邪魔することなく周囲の自然に溶け合い、想像以上に良いものだった。
- ・県からの補助金の関係で景観アドバイザーの先生が入ったとのことだったが、どのようなやり取りを経て完成したのか気になった(市の考えなどとのくらい取り入れられたかなど)。

3 旧八岳小学校(一部解体)

- ・「伊豆市公共施設再配置基本方針」に基づく施設の解体と改修ということで、平常時には地区のコミュニティ施設として、地域づくり協議会からの要望を取り入れるなど使い勝手に配慮している。
- ・災害時には、解体したプールや体育館などの跡地も含め広い芝生のグラウンドへの自衛隊ヘリコプターの離発着を想定しているなど、地域住民の安全と安心に応えられるものと思った。

4 水道施設(冷川浄水場)

- ・中伊豆地区の 50%以上を賄っている冷川浄水場は、この地域の住民にとっての命綱として50年近く稼働している。普段人の目に触れることの少ない施設だが、1年365日、人の監視の目が必要なことを考えるとその労力は計り知れない。
- ・そこに中央監視システムが設置されたことで、少しでも職員の負担軽減につながり、更に良質な水の提供、また災害時対応などにつながるものと期待できた。

5橘保育園跡地(今後の利用)

- ・公共施設の再配置として、解体した跡地を人口減少対策のために住宅地とするもので、「ゆたかでゆとりある田舎暮らし」のイメージで一区画 250 m²となっている(200 m²以上で補助金を活用)。
- ・駅やスーパーなどへのアクセスには少々難があるかもしれないが、子育て世代などには自然を感じられる環境として魅力的ではないかと思った。
- ・民間事業者への譲渡で速やかな事業展開ができることを強く望むところです。

6虹の郷(指定管理状況)

- ・丁度バラが満開の時期で天気もよく、きれいな空気と景色の中で富士山も見えることなどリピーターがいるのも頷ける環境と納得した。
- ・指定管理の状況として、通年の誘客イベントの魅力アップや、園内の地形を活かした遊具の設置などの工夫などが見られた。
- ・園内の施設や樹木、遊具などの維持管理についてマイナスの評価を耳にすることもあるが、施設利用時の安全面などを最優先に、来場客に飽きられない施設運営を続けてもらえたらと思う。